

# 安心・安全にそして充実した日々を

## 翔陽 秋田 ワークセンター



クリスマス会  
とてもいい思い出に  
なりました



社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

会長 伊藤英紀

## 夢に向つて前進を続ける

新年、あけましておめでとうございます。みなさんも、よいお正月を迎えたことと思います。私もおかげさまで、元気に新春を祝いました。

早いもので、二十一世紀に入り、十七年となり、四人に一人が、六十五歳以上となる、超高齢化社会を迎えております。

こうした、歴史上にも類をみないスピードで、高齢化が進んでいくという状況の中で、日本老年学会から高齢者の定義を「六十五歳以上」から「七十五歳以上」を「高齢者」とするという提言がなされました。現実にこれまでの人生五十年を前提とした社会は、人生八十年を前提とした社会へ、と大きく設計の変更をせざるを得ない時代となり、激変する社会環境に対応するためにも、好むと好まざるとにかかわらず、自らがあらゆる面で、大きな変革を遂げなければならないものと考えます。

その意味で、現在、グループホーム「共同生活援助（短期入所併設）」の創設をめざして、鋭意努力しております。

このワークセンターと一緒に生活しているみなさんが、この施設に住んでよかったですと実感し、ぜひ住みたいと思われるような施設づくりにどう取り組んでいくのか、というのが、今後、当協会に課せられた大きなテーマだと考えております。そのために私は、これからもみなさんと一緒に、一丸となつて、夢のある明日に向つて、一生懸命、前進を続ける決意であります。

どうか今年も、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、新年がみなさまにとりましても、幸せ多い年でありますようお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶といたします。

# 新しい年を迎えて



障害者支援施設秋田ワークセンター所長 佐 藤 茂 仁

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き新年をお迎えのことと存じます。

さて、念願でありましたグループホームの建設について秋田市の平成二十九年度の事業予定者として正式に選定され、一月十日付けで通知を受けました。今後も国庫補助への協議書の提出、国庫補助金の内示を受けての実施設計、建築工事事業所指定の申請等、まだまだ行なうことが沢山ありますが、それでも着実に計画の実現に向かって進むことができております。これも皆様からのご支援、ご協力があつてのことと、心から厚くお礼を申し上げます。

また、平成二十九年四月に本格施行される社会福祉法等の一部を改正する法律においては、事業運営の透明性の向上や、地域における公益的な活動の推進など、国民に対する説明責任と地域社会に貢献する施設のあり方を明確にすることが求められています。併せて、安全・安心な施設、障害者の権利擁護・虐待防止に向けた取り組みの推進、利用者の高齢化・重度化に伴う支援量の増加や専門的なケアの提供等、取り組まなければならぬことが山積しております。

しかしながら、繰り返しになりますが、大切なことは、利用者の声に寄り添いながら、職員一人一人がコンプライアンスを高め、情報を共有し、結束して職務にあたることだと思います。その実現に向け、今年も努力して参りたいと考えております。

今年も引き続き、皆様のご協力、ご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

## 厚生労働大臣表彰

## 職員表彰

社会福祉事業に永年従事し、この功績が特に顕著であると認められ表彰されました。平成二十九年一月六日、表彰状伝達式が秋田市役所で行われました。



就労支援課長  
鎌 田 正 子

この度、厚生労働大臣賞という名譽ある賞をいただき皆様に深く感謝申しあげます。これからも微力ではあります「感謝の心」を忘れず充実した障害者支援に努めて行きたいと存じます。



### 秋田県知事表彰

平成二十八年十月十九日、社会福祉奉仕者としての功績が認められ、福祉の功労者に対して当施設より四名の支援員が選ばれ表彰されました。



課長補佐 看護師  
土 田 エリ子

このたび、このような賞を頂き、ありがとうございました。ワークセン



主査 就労支援員  
石 塚 浩 治

このたび表彰を頂き、これまで多くて、感謝しております。このような喜びを得ることができたのは、よき上司のご指導とよき同僚や利用者さんに恵まれたおかげだと思っております。今後もより一層努力していきたいと思います。



課長補佐 サービス管理責任者  
佐 藤 博

この度はこのような賞を頂き、今まで支えていただき皆様に大変感謝しております。  
まだまだ学ぶ事も多くありますので、今後もご指導よろしくお願ひします。



課長補佐 事務員  
佐 藤 健

タードに勤務して二十六年目となります。が、皆様の御支援と御指導があつての事だと心より感謝申し上げます。今後も利用者の皆様が健康で充実した生活ができるように頑張っていきたいと思います。

# 下北手中学校職場体験

7月12日  
~7月14日



勉強のために  
頑張るぞ～！！

七月に入つて今年の職場体験の三日間、下北手中学校一年生四人による職場体験が行われました。作業体験では車手作業や印刷作業等を行い、また福祉体験では、ジエスチャーゲームを取り入れて手話等を体験したり、機能訓練の手伝いをしてもらいました。練習の手伝いをしてもらいました。

車いすのまま福祉車両にも乗りました !!



所長自ら車いすに乗っての説明

下北手小学校四年生十七名がホールにて福祉体験を行いました。今回は車椅子の使いかたを中心に勉強していくので、実際に車いすに移乗して自分で前進したり後進したり段差を越えたりと、順番に全員が車椅子に乗り動きを確認していました。

# 下北手小体験学習

7月15日

## 地区リシピック

9月11日

当施設からは五名の利用者が参加しました。天候にも恵まれ、絶好の運動会日和となりました。一人三脚、玉入れ、パン食い競争の他、今年から新種目の「ボールを落とさない」にも出場しました。ラケットからボールを落とさないよう悪戦苦闘しながらも、ゴールまで走り切り、いい汗を流しました。地域の方や元気いっぱいの小・中学生との触れ合いもあり、皆さん大いに楽しまれたようです。



## 第14回 秋田県障害者スポーツ大会

9月3日・9月10日



今年のスポーツ大会は9月3日に陸上競技、フライングディスク、水泳競技に十八名が参加し、十個のメダルを獲得しました。参加された皆様からは、「楽しかった」「来年こそはメダルを取りたい」との意気込みが聞かれ、来年もメダル獲得数の更新を期待したいと思います。

陸上競技、フライングディスク、水泳競技に十八名が参加し、十個のメダルを獲得しました。参加された皆様からは、「楽しかった」「来年こそはメダルを取りたい」との意気込みが聞かれ、来年もメダル獲得数の更新を期待したいと思います。

# ワークセンター祭り

9月14日

三種町のB級グルメ「三種巻き」は好評で、焼き上がりが追いかからないほどの人気があり、また縁日コーナーでは、利用者同士の宣伝効果もあり、景品が不足するほどの人気があった。まつりのメインである五城目のトメさんは、爆笑の渦に巻き込まれ、フィナーレの盆踊りの参加者も多く、盛会に終了しました。



B級グルメ「三種巻」



五城目のトメさん



今年も下北手小学校四年生児童とのだまこ交流会を行いました。風邪や食中毒などに気を使つたものの、利用者・生徒が一丸となつて楽しみながら作つただまこ鍋は、とてもおいしくお替わりのオンパレードでした。

小学生からは、最後に演奏と歌のプレゼントもあり、楽しいひと時を過ごしました。

だまこ交流会

10月  
19日



# クリスマス会

12月14日



今年のクリスマス会はフラダンスグループ「秋田ナ  
ラ オケ マカニ オル」によるハワイアンダンス  
が披露され、ほのかな温かみが感じられました。また、  
総数20名によるダンサーの踊りには迫力があり圧倒  
されました。

当ワークセンターからも、4人の男性で急遽発足し  
た「ワークセンターダンシングチーム」によるコラボ  
も見られ、笑いと歓声ありの楽しい時間を過ごしま  
した。



スマイル  
スマイル😊



## 下北手梵天奉納実行委員会 慰問 1月6日

梵天奉納は年の始めに「五穀豊穣」「商売繁盛」「安全  
祈願」「健康祈願」等を祈願することが起りとされて  
あります。1月17日の太平山三吉神社への奉納の前に今  
年も当施設にあ披露目に来てく  
ださいました。華やかな梵天  
と素晴らしい三吉節の歌声、  
そして「ジョヤサ、ジョヤサ」  
の掛け声。利用者の方々は梵  
天を持ち上げたり、中をのぞ  
いたりとまるでお祭りに参加  
した雰囲気をみんなで味わう  
ことができました。

梵天祭り当日は施設からも  
職員1名参加させていただき、  
利用者の皆さんが今年一年よ  
り良い年となりますよう願い  
を込めて奉納してきました。



## 心いきいき芸術文化祭

拠点センターアルヴェにて、第16回心いきいき芸術文化  
祭が行われました。福祉展には4名の利用者が出演し、コン  
サートでは3名の利用者が歌の合唱を行いました。どの作品  
も、様々なアイディアや工夫がありとても素敵なものでした。

この度は数ある作品の中から、小野千寿子さんの書道  
「笑う門には福来る」、浅香恵美さんの刺し子「花籠」が  
三席金賞を受賞しました。おめで  
とうございます。

金賞の2作品は、12月の障が  
い者週間を利用し秋田県庁に展  
示されました。



# 成人おめでとう



佐藤 裕太



私の成人としての目標は、仕事で疲れにくくなるために、トレーニングをして、体力と筋肉をつけること、もつと出来ることを増やせる様に頑張りました。夢は、クラッチを使って、歩いて外で買い物などをしたいです。

## 全国障害者スポーツ大会 希望郷いわて大会に出場して

国井 沙耶花

私は六日間、水泳競技二十五メートルと五十メートルの自由形に出場しました。結果はそれぞれ銀メダルを獲得することができました。競技が始まる前は少し緊張しましたが、スタートの合図が鳴ると緊張感がなくなり、練習の成果を出し切ることができました。コーチやボランティアの方々には大変お世話になりました。

秋田での生活は初めてであり、いろいろと不安は尽きませんが先輩職員の皆さんに相談したりご指導を頂きながら頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いします。

第9回

秋田東地区安全運転管理者協会主催

## セーフティ・ドライバーズ 100日コンテスト



臼崎 恵子  
生活支援員

## 新任職員紹介



エプロンの装着の仕方を学んでいます

真剣に看護師の話を聞く職員



冬場には、ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症が多発します。

## 社内研修

日常の健康管理、手洗いの励行は、何よりも大事ですが、施設では、社内研修を開催して、感染症の基礎知識や発生予防・拡大防止の対策について実践を交えて学び、一人一人があわてずに確実に対応できるようにしています。

## 寄付・寄贈

鎌田聰さんのご家族様  
沓澤健二さんのご家族様  
小野千寿子さんのご家族様  
長谷川秀憲さんのご家族様  
上村清朗様

## 今後の行事予定

2月 節分

4月 家族総会

5月 外食支援・買い物支援

6月 生活日帰り旅行

就労利用者研修旅行

## 利用者入退所

○退所

森齊藤憲一様  
屋智美様  
(11月30日)

## 一編集後記

今年の冬は例年よりも暖かく、過しやすくなるものとばかり思つていた十一月。

それが一月に入ると天地が雪雪。とはいえ、少しずつ春に近づいているのには変わりありません。あともう少し春の訪れを待ちましょう。

体調を崩しやすいこの頃ですが、健康管理に十分に気をつけます。